

令和 5 年度 全国安全週間

本 週 間／ 7 月 1 日 ～ 7 月 7 日

準備期間／ 6 月 1 日 ～ 6 月 30 日

<スローガン>

たか いし き あんぜんこうどう きず さいしよくば
高まる意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、本年度で 96 回目を迎えます。

事業場で労使が協調して継続的に労働災害防止対策が展開されてきた結果、全国の労働災害は長期的に減少しています。しかし、宮崎県内の令和 4 年の労働災害による死亡者数は前年比 5 人増の 18 人であり、平成 20 年以降で最も多い状況です。また、休業 4 日以上之死傷者数は、平成 30 年以降 5 年連続で増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年比 1,447 人増の 3,134 人と平成元年以降で最多となっています。なお、新型コロナウイルス感染症を除いても前年比 72 人増の 1,615 人で労働災害の増加傾向に歯止めがかからない状況です。

特に「転倒」や「腰痛」といった労働者の作業行動に起因する休業災害、高所作業場所や重機運転中での「墜落・転落」、伐木作業中の伐倒木等による「激突」などの死亡災害が依然として後を絶たない状況となっています。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和 5 年度よりスタートした第 14 次労働災害防止計画に基づく施策を労使一丸となって取り組むことが重要です。

このような状況を踏まえ、令和 5 年度の全国安全週間は、

「 たか いし き あんぜんこうどう きず さいしよくば
高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場 」

をスローガンに、6 月 1 日から 6 月 30 日までを準備期間として、7 月 1 日から 7 月 7 日までを本週間として実施します。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、自主的な安全活動を着実に実行しましょう。

令和 5 年度 全国安全週間

「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に全国安全週間を展開します。

令和 5 年度の全国安全週間は、

「^{たか}高める^{いしき}意識と^{あんぜんこうどう}安全行動 ^{きず}築こうみんなの^{さいしょくば}ゼロ災職場」

をスローガンに、6 月 1 日から 6 月 30 日までを準備期間として、7 月 1 日から 7 月 7 日までを本週間として実施します。それぞれの職場で、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、自主的な安全活動を着実に実行しましょう。